

平成 23 年度事務局研修会開催

東京・平河町 日本海運倶楽部 全国より 77 名参集

全国海運組合連合会は 10 月 28 日、東京・平河町の日本海運倶楽部で平成 23 年度事務局研修会を開催した。

この日参集したのは全国の所属組合、地区組合、支部等を合わせて 77 名。高木信男専務理事の司会で始まった研修会は、寺岡洋一副会長・総務委員長の挨拶に続き、小比加恒久会長より「内航海運の現状と今後の課題」について講演。この後、高木専務理事と中島繁理事・事務局長代理がデータと資料に基づき①暫定措置事業資金計画②今後の暫定措置事業のあり方検討状況③シップリサイクル条約の進捗とインベントリ作成問題④航機両用教育に関するアンケート調査⑤カボタージュ規制に関する動き⑥暫定措置事業実施状況⑦暫定措置事業に係る船腹量推移⑧来年度内航海運税制改正重点要望⑨来年度海事局関係概算予算概要、など内航海運のおかれている厳しい現状や問題点等を説明。参加者は熱心に聴講し、次いで地方のおかれている実情や切実な要望等について、活発な質疑応答と意見交換を行った。

なお、研修会終了後の懇親会では、北は北海道から南は沖縄まで全国から参集した事務局関係者が貴重なひとときを過ごし、和やかな中、盛会裡に終了した。

研修会

会場を埋め尽くした全国から参集の事務局関係者



左から中島理事、寺岡副会長、小比加会長、高木専務理事、

懇親会

和やかな交流

